

ネイティブ アルカリゲネス属 コリンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-184

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酵素学において、コリンオキシダーゼ (EC 1.1.3.17) は、次の化学反応を触媒する酵素です: コリン + O ₂ ⇌ ベタインアルデヒド + H ₂ O ₂ 。したがって、この酵素の二つの基質はコリンとO ₂ であり、二つの生成物はベタインアルデヒドとH ₂ O ₂ です。この酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。
用途	この酵素は、ホスホリパーゼDと結合した際のホスホリピッドの酵素的測定や、臨床分析におけるコリンエステラーゼ活性に役立ちます。
別名	コリンオキシダーゼ; EC 1.1.3.17

製品情報

由来	アルカリゲネス属
外形	黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
形態	フリーズドライパウダー
EC番号	EC 1.1.3.17
CAS登録番号	9028-67-5
分子量	approx. 95 kDa
活性	Gradelll 10U/mg-固体以上 (安定剤約20%を含む)
混入物	カタラーゼ < 1.0×10 ² %
等電点	4.1±0.1
pH安定性	pH 7.0-9.0 (30°C, 2時間)
最適pH	8.0-8.5
熱安定性	37°C未反応 (pH 7.5、10分)
最適温度	40-45°C
ミカエリス定数	2.84×10 ⁻³ M (コリン) 、5.33×10 ⁻³ M (ベタインアルデヒド)
構造	1モルのFADが酵素のモルに共有結合しています。
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート, Cu ⁺⁺ , Co ⁺⁺ , Hg ⁺⁺ , Ag ⁺
安定化剤	EDTA、牛血清アルブミン、アミノ酸 (グリシン、ナトリウムグルタミン酸など)

保管・発送情報

安定性	-20°Cで少なくとも6ヶ月間安定しています
-----	------------------------